

平成17年度

名古屋大学大学院国際言語文化研究科公開講座

日本像と探る

—外から見た日本・内から見た日本—

わたしたち日本人は、日本が外国からどのように見られているかという問題に敏感な国民だと言われます。それではいったい、わたしたちの抱く「日本像」とは、どのようにして形成されたものなのでしょうか。そしてそれは、外国人の抱く日本像とどのように異なり、まだどのように関係しているのでしょうか。

わたしたちの国は、古くは中国・朝鮮から、近代には西欧から、多くの文化を取り入れてきました。異文化との接触によって、外からの日本像と内からの日本像が会い、葛藤を起し、そして相互に影響をおよぼし合いながら今日に至っています。そのような文化史の様々な断面を、様々な視点から、考えてみたいと思います。

〔第1回〕 6月3日(金)

灯台下暗し、お宝再発掘—

仏教と陰陽五行説から見た日本像

松本伊瑳子

〔第2回〕 6月10日(金)

平安文学における「モロコシ」と「ヤマト」

胡 潔

〔第3回〕 6月17日(金)

身体知の実践論—いま「職人の叡智」に学ぶべきこと—

柴田 庄一

〔第4回〕 6月24日(金)

ウィーンのジャポニスム

西川 智之

〔第5回〕 7月1日(金)

明治初期の「日本」像

前野みち子

〔第6回〕 7月8日(金)

ドイツ近代演劇と日本古典演劇

大庭 正春

〔第7回〕 7月15日(金)

アメリカ人が内と外から見る日本像

涌井 隆

〔第8回〕 7月22日(金)

侯孝賢監督『珈琲時光』

(小津安二郎生誕100年記念映画)を読む

星野 幸代

《開催期間》6月3日(金)から7月22日(金)まで 毎週金曜日 全8回

《開講時間》18:30~20:00

《受講対象者》一般社会人、大学生、大学院生

《募集人数》60名(先着順)

《受講料》7,200円(「納入依頼書」により郵便局へ払込)

《開催会場》名古屋大学 東山地区 文系総合館7階カンファレンスホール

《申込締切》5月17日(火)まで〔必着〕

《申込方法》郵送に限ります。詳しくは募集要項をご覧ください。

《要項の請求》募集要項の必要な方は、返信用封筒(80円切手貼付のこと)を同封の上、下記申込先まで請求して下さい。または下記ホームページから印刷できます。

申し込み
と
問い合わせ先

名古屋大学大学院国際言語文化研究科事務室

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL: 052-789-5245・4833 [AM9:00~PM5:00] FAX: 052-789-4873

ホームページ: <http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/events/2005/kokaikoza-2005.html>